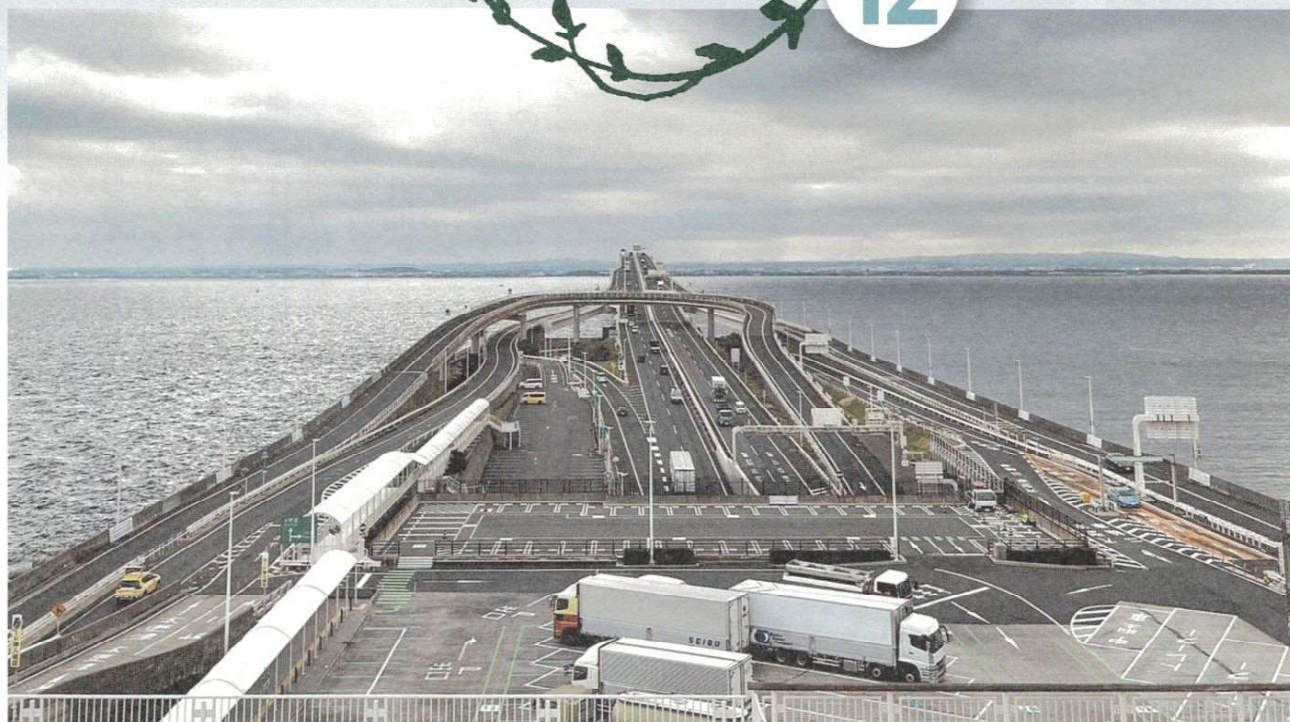


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



東京湾アクアライン(千葉県木更津市方面)

西徳寺の予定

12月

- 7日(土) 午後2時 総代会
14日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
法話:山崎住職
18日(水) 午後1時半 婦人会間法会
21日(土) 午後2時 定例間法会
31日(火) 午後3時 歳暮法要

1月

- 元日(水) 午前7時 修正会
12日(日) 午後3時 評議員会新年会
18日(土) 午後2時 定例間法会
19日(日) 午前11時 婦人会新年会
25日(土) 午後5時半 同行会新年会

※予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。

ランドマーク 東京湾アクアライン(神奈川県川崎市・千葉県木更津市)

今月は神奈川県と千葉県をアクアトンネルとアクアブリッジで結ぶ自動車専用道路、「東京湾アクアライン」に伺いました。

東京湾横断道路の構想は、1961年(昭和36年)からあり、1989年(平成元年)に着工し、構想から30年以上の歳月を経て1997年(平成9年)に完成しました。多くの新技術が多用され、「土木のアポロ計画」と呼ばれていたそうです。

総延長は15.1キロメートル。トンネルは日本4位の長さで、全長4384mの橋は、橋梁としては日本最長の長さです。木更津と川崎間の距離が約100kmから30kmに、所要時間も約90分から約30分へと短縮されました。

2009年に通行料金が引き下げられ交通量が増加し、物流効率の向上や、房総半島の経済産業発展に貢献しています。



12月の山門の言葉



「伝える」だけの言葉から、 「伝わる」言葉になる

生活する中で、何らかの形で言葉を使ってコミュニケーションを取ることを当たり前に行っているが、相手に伝わらない経験は誰にでもある。伝えたいことが上手く伝わらない、手紙やメールの様に、活字だけでは伝わったかどうか、不安を覚えることもあるだろう。

こう考えると、言葉を使うことは私たちにとって当たり前だが、実は言葉が絶対ではない。

学生の頃、身体を動かすことが好きで、勉強が疎かになっていた。見かねた両親が、突然アメリカへの語学留学を勧めてきた。私の置かれている生活環境に刺激を与えたかったのだろう。

私の実家では小学生の頃からホストファミリーとして、海外の方を数週間受け入れていたことで、多少英語には免疫があった。しかし、いざ英語で会話することが容易でなかったのは、皆様のご想像通りである。そこで活躍したのが、身振り手振りでコミュニケーションを取ることで、ジェスチャーも案外伝わるもので、おぼつかない英語と併せ、一ヶ月半の滞在も良い経験となった。

同じ言語でコミュニケーションを取る時には、ジェスチャーを使うことは殆どないが、言葉で伝えきれない時言葉にならないことを表す時には、身振り手振りで伝えることがある。

例えば親から子へと大切なことを伝えたい時、口うるさく教え伝えることも大切だが、「ジェスチャー」という日常の姿を、格好良く言えば「生き様」と言い換えるところに、「何を大切に生きるか」という生き様を、子どもはよく見ている。その姿自身が、言葉では言い尽くせないことを表し、親から子へと伝わっていく。

「生き様」ということが、「伝える」だけであつた言葉を、「伝わる」言葉へと変える重要なことだと感じている。

(大橋 伊知郎 記)

顧問のカレンダーに聞く

貴方の感じられている

虚しさこそ

真実の世界への

強烈な憧れなのです

虚しさは我が身が煩惱の塊であるが故であります。他
の人と共に生きることが至難なことであり、共に生きら
れない孤独な存在であるとも説かれます。我慢と妥協が
強いられる虚しい日常を過ごしているのです。

この虚しさを超える教えを明らかにしているのが、南
無阿弥陀仏の教えであ
ります。その要は聞くこ
とに尽きます。虚しさ
が憧れになる時こそ、聞法
へ誘う大きな力となるの
です。



That empty feeling inside is just our heart yearning
for that truly real world: the Pure Land.

西徳寺報恩講 11月2日(土)・3日(日)

11月2日(土)、11月3日(日)の午前、2日間にわたり報恩講が勤修されました。
今年は例年以上のご参詣を賜り、賑々しく勤まりました。

今回で3度目の御縁をいただいた、兵庫県・常福寺住職の日下貴行布教使からは、私たちが常に善悪に囚われていることを明かしていただき、しかもそれは人や立場によって異なり相容れないことをお説きいただきました。またその内容を浄土真宗所依の經典、『大無量寿經』に訪ねていただきました。御聴聞いただいたご門徒からは「分かりやすかった」「もっと聞きたかった」という反響をいただきました。

また混声合唱団「エコー」も鹿内先生ご指導のもと、更なる成長を感じさせる素晴らしい歌声をご披露いただきました。

改めて日下布教使におきましては、この度の御縁に御礼申し上げ、ご参詣賜りました皆様にも感謝申し上げます。

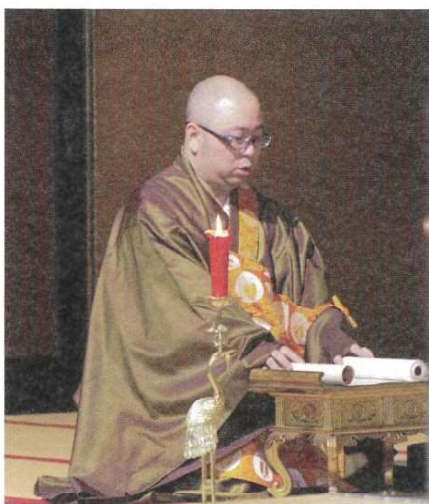
西徳寺住職 山崎 哲



日下貴行師



混声合唱団エコー



御伝文拝読・蓮井邦宗



本堂

御親修 西徳寺開基400年・ 本堂建立100年記念法要

11月3日(日)午後、本山より真覚御門主に御下向いただき、「御親修 西徳寺開基400年・本堂建立100年記念法要」を勤修いたしました。

法要は佛光寺派東京教区ご住職の方々、また西徳寺OBの方々に出仕いただき、厳かにお勤めいたしました。

真覚御門主様からは「400年前、この関東の地に聞法の方が拓かれ、400年継承されてきたことは誠に尊いことであり、また関東大震災の混乱の中で、西徳寺本堂を建立されたことは並々ならぬ苦勞であり、拠り所を求めるお心に深い敬意を感じる」というお言葉をいただきました。その後、西徳寺OBでもあり、本山佛光寺総務 廣澤晃隆師よりご法話を頂戴いたしました。

また「帰敬式」では50名を超える方が受式され、法名を付与されました。この場を借りて、改めてお祝い申し上げます。

最後に、書道パフォーマンスとして、青柳美扇氏より「清風会」の美しい声明のもと「成佛道」と揮毫いただき、法要は円成いたしました。

150名以上の方々にご参詣いただき、お座りになれなかった皆様には、この場にてお詫び申し上げます。また法要に際し、おおくの縁者様からご厚誼を頂戴いたしましたこと、衷心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

西徳寺住職 山崎 哲



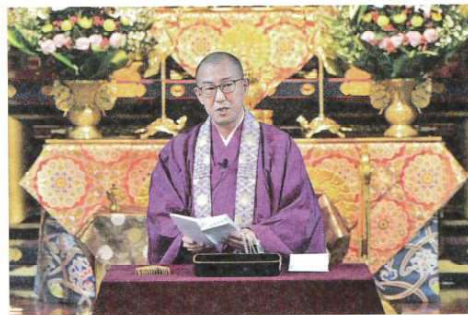
勤行



複演(廣澤晃隆師)



書道・声明イベント



御親教「真覚門主」



帰敬式



中央ブロック会 報告

10月27日(日)、西徳寺におきまして中央ブロック会を開催しました。今回も『歎異抄』第1章を共に学びました。どんな人も救う阿弥陀の本願はすでに私たちに届けられており、しかしそのことに無自覚のまま生活をしている。その姿を「罪悪深重煩惱熾盛の衆生」と言い当てられていると教えていただきました。

質疑、懇親会でも皆さんそれぞれに受け取られたこと、感じられたことを話し合うことができ、とても貴重な時間となりました。

次回は令和7年4月27日(日)に開催予定です。(担当:蓮井 邦宗 記)



城北ブロック会 報告

11月17日(日)、西日暮里にある飲み処「一合」にて城北ブロック会聞法会を開催いたしました。

今回のテーマは「生きているうちに楽しんでおかねば」。私たちは普段、積み重ねた経験に基づいた答えを他者に振りかざしています。その答えは生老病死の現実には打ち砕かれる。答えを出すことのできない、広大な今をいただいているのだと教わりました。

懇親会ではお店のご厚意で、普段は飲めないお酒も出してもらい、話の絶えない楽しい時間を過ごせました。

次回は令和7年3月9日(日)、北区王子での聞法会を開催する予定です。

(担当:仲井 真裕 記)



仏具磨き 報告

10月23日(水)、有志の方にお手伝いをいただき、報恩講・記念法要に向けての仏具磨きをしました。皆さん慣れた手つきで仏具を磨き、お昼は一緒にカレーを食べ、和気藹藹とした雰囲気での作業となりました。綺麗になったお荘厳と共に報恩講・記念法要をお迎えすることができました。お手伝いいただきました皆様、誠にありがとうございました。(蓮井 邦宗 記)





坊さんのツブヤITTER



@ジュンエン

通勤用に自転車を購入しました！

自転車でいつもの通り慣れた道を通ると、いつもなら素通りするようなお店や景色に気づかされ新鮮です。近くても知らない場所ばかりです。交通事故にだけは気をつけます。

#運動するせいかお腹が空きやすい

#自転車通勤の人の多さにも驚く



えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

三重県 東光寺 様

台東区 森下 幸雄 様

吉川市 筒井 都子(旧姓 荒尾) 様

※当紙10月号に筒井様の記載が抜けておりました。
大変失礼いたしました。お詫び申し上げます。

内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

気が付けば令和6年も年の瀬です。年を重ねると、1年1年が早く過ぎ去ると教わっていましたが、段々とその教え通りになってきたと感じています。

来年は巳年であると、年賀状の予約サイトを見て知りました。最近郵便の値上がりもあり、控える方も多いのかもしれませんが。私も悩みながら年賀状の予約をしました。

当紙『えこお』は、毎月約2700名の方にお送りしております。値上がりの影響もあり、到着が遅れたり、封筒の形が変わったりすることがございます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただければ幸いです。

来年も皆さまに楽しんでいただけるよう努めてまいります。良いお年をお迎えください。
(編集長 仲井 真裕 記)



海ほたる建設記念碑・カッターフェイス

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com
🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook

「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。